

# 平成26年度第10回旭市道の駅建設準備委員会 会議録

日 時：平成27年1月22日（木）午後3時30分  
場 所：市役所3階委員会室  
事務局：企画政策課  
外部アドバイザー：(株)船井総合研究所

## 1. 開会

欠席（遠藤委員、菅生委員）報告

## 2. あいさつ

委員長：大変お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

今年の10月に道の駅が開店予定となっており、日程が詰まっております。委員の皆様には体調に気をつけていただき、今後も慎重審議をお願いいたします。

市長：大変お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

また、遅れましたが明けましておめでとうございます。

今年は、待ち焦がれておりました、道の駅の開業の年であります。現在、道の駅の建設工事は予定どおり進捗しており、これから道の駅のネーミング、また、テナント出店者の選定と随時、決定してまいりまして、4月には、道の駅を運営する第三セクターが設立されます。まだ開業に向けて取り組む案件はありますが、もう先が見えるところまで来ております。

さて、国では「まち、ひと、しごと創生法」が成立し、国がやる気のある地方を支援する施策を進めることになりました。具体的な支援制度は、今年構築されるでしょうが、規制緩和、権限移譲など地方自治体の裁量に委ねるような政策を要望していきたいと思っております。そうしたことから、道の駅は、まちの特産物や観光資源を活かして、人を呼び地域に仕事を生み出すものであります。道の駅が地域活性の起爆剤になるような施設にしたいと思います。

同じ駅ということで、東京駅は昨年、開業100周年を迎えました。是非、私どもの道の駅も100周年を迎えるよう、継続発展できるものにしたいと思います。

結びに、本年が皆様にとりまして、希望に満ちた幸多い年となりますよう心からご祈念申し上げまして、あいさつといたします。

## 3. 議題【道の駅運営に向けた検討項目】

### ・発起人会の経過報告について

#### ※事務局より説明

→定款案の策定状況、事業計画、社内規程及び会社の取り扱い口座、今後の検討事項について

### (1) ネーミングの選考について

→「旭市道の駅名称選定委員会」を実施した結果、応募総数636件の中から、名称は「道の駅季楽里あさひ」に決定した。

今後は、決定した名称で道の駅の登録や周知を行う。また、2月12日には受賞者の

表彰式を行い、市長より賞状と賞品を授与する予定である。

## (2) 今後の検討とスケジュールについて

※事務局、アドバイザーより説明

・現在の検討組織の役割と今後のスケジュールについて

→平成27年度計画について人事、物販、テナント管理、飲食部門、オープンイベントの各分野を重点的に準備を進める。発起人会は会社が設立されれば解散し、以降は会社が経営分野を検討する。建設準備委員会は、工事の進捗状況の確認、ユーザーズクラブの企画等を検討していくことになり、開催頻度は減ってくる。

## 各委員からの意見

委員長：今回の資料ではオープン予定が10月末になっているが、これまで10月初旬オープンの予定で進めてきている。オープンが1ヶ月遅れれば売上も減ることになる。収支計画に合わせた工期にすべきである。

アドバイザー：出来れば10月初旬にオープンさせたいが、工事の状況等によっては遅れることも考えられる。今回の資料では仮の日程で10月末で入っている。

事務局：現在の工事の状況では、これからすべての工程が順調に進んで、契約工期のとおり7月末に完成する工程である。完成から3ヶ月の準備期間で10月末としている。

委員長：工事は収支計画通りに完了するように指導するべきである。現段階で日程を延ばしてしまえば遅延を認めてしまっていることになる。

事務局：今後、建設業者には早期工程で勧めるよう指導し、10月初旬のオープンを目指していきたい。

委員長：検討資料も計画通りの期間で出すべきである。

市長：業者にはしっかり指導しながら、10月初旬のオープンを目指して工事を早めていくことも必要である。

委員：施設についてはテナントとの協議もやっていかないといけない。どのような施設になるか、どんな什器が入るか等検討が必要である。

## (3) その他について

※事務局より説明

・テナントの選考等について

→全てのテナントの選定について、選定委員会を開催して各テナントの出店者を選定する。

・道の駅の登録について

→道の駅登録について国土交通省でヒアリングがあった。概ね問題はないとのこと。

閉会 17:10